

「購入」か「リース」か、 どちらが得ですか？

Q 開業医です。医療機器の導入を検討しています。
「購入」か「リース」によるべきか、迷っています。どちらが得ですか？

A 自己資金に余裕があり購入できるなら、リースでなく購入をおすすめします。リースは割高です。

借入金で購入の場合とリースの場合にどちらが得かとなると…

借入金で購入の場合は、通常の分割支払額（借入金の元金返済）にプラスして金融機関に利息が発生します。その他に保険料・固定資産税の支払いも必要になります。

リースの場合は、通常の分割支払額にプラスしてリース会社に利息相当額・保険料・固定資産税を含めたリース料を支払いすることになります。

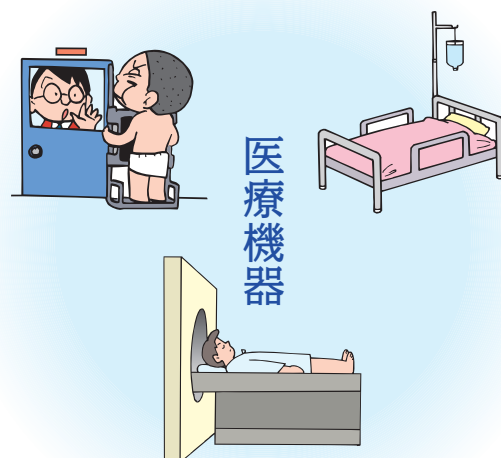
まずは、通常の分割支払額にプラスされる額の安い順に検討されてはと思います。

「借入金で購入」と「リース契約」のメリット・デメリットは次の通り考えられます。

- 購入の場合には、修理などの保有コストがかかりますが、リースの場合は一般的には別途保有コストはかかりません。
- リースの場合、一般的に審査は短く担保も取らない、また金融機関の借入枠を残せる可能性があります。
- 購入の場合、処分等が自由ですが、リース契約は途中解約ができず、払い終えても自分のものになりません。
- リース資産の所有権はリース会社にあるため事務管理が楽です。
- リース料は毎月一定額で経費負担が平準化されます。
- 購入の場合、減価償却の方法で定率法にするか定額法にするか、リース契約の場合、リース期間を何年に設定するかによって違いますが、どちらも全額を損金処理することができます。特別償却を選択できる場合は、購入するほうが短期的な節税効果は上がると思います。

最後に、借入金で購入する場合は、金融機関に借入して機械を買うということであり、リース契約はリース会社に借入して機械を使用する権利を買うことであり、同じことになります。

実際にはあまり利用されていない高額な医療機器を導入されることも見られますが、患者さんの状況にも応じて必要な医療機器を検討してください。また納入業者の選定に当たっては価格だけでなく、保証・保守・点検等のアフターサービスも業者の選定のときに検討されるようお願いします。



このコーナーは、税理士、公認会計士によって構成される税務実務家の研究グループが担当しています。このコーナーに関するご質問は、下記の事務局までお願いいたします。

税理士・公認会計士 香本 明彦・谷口 貴
税理士 植田 順・堀口 裕弘・木戸 義人・松井 克行・萩 恒夫・萩原 政宏
岡本 弘之・今西 正二・徳山 智子・縄田 浩昭・中川 秀夫・桒崎 静子
新見 和也・古瀬英美子

伏研会事務局 京都市伏見区桃山町養育19-14 植田順税理士事務所内 TEL:075-604-3160 FAX:075-605-0185

Gallery Stand

ギャラリースタンド

ギャラリーを楽しませる工夫がいっぱいのシニアツアーが面白い！

韓国女子QTで 日本のアマチュア「永井」がダントツのトップ通過



プロトーナメント花盛りで、スポーツニュースでもゴルフの話題が多く取り上げられ、いやがうえにもプレー意欲を掻き立てられるが、そんな中で、ほっと気が休まる話題が浮かび上がった。

まずは男子ツアー。人気が低迷と言われるレギュラーツアーだが、石川遼の久々の優勝で注目を浴びた。スターはいるのだが、松山英樹、石川遼とも主戦場はアメリカに置いており日本ツアーでの存在感は薄い。反面、人気を伸ばしているのがシニアツアーだ。試合数も2010年には10試合だったのが、今期は13試合に増えている。スポンサー

筋もその人気の効用に参画が積極的なっているからだ。

よく聞かれるのが、ギャラリーのこんなコメント。「シニアの熟練された技が非常に参考になる」「サービス精神が旺盛で、緊張感の中にもゴルフを楽しむというのを教えられる」などだ。

シニアツアーにギャラリーが押し寄せるのは、スポンサーの企業努力とシニア選手の旺盛なサービス精神と盛り上げの仕掛けの面白さがうまくかみ合っているからだ。ある健康関連企業の試合では、スキンケア、血管チェック、ドリンクサービスといったギャラリーへのおもてなしがみられ、またある大会では試合前の早朝に人気お笑いコンビのイベントを催し大会の雰囲気や和らげていた。大会の雰囲気や盛り上げることは必要であり、倉本選手などは試合中でも気軽にサインに応じている。腰痛で不参加の青木功も軽妙なトークでラウンドレポーターの役割を果たしている。選手が一丸となってツアーを盛り上げるという努力が実を結びつつある。あるプロが言っていた。「ゴルフは、面白くなければならない」。

もう一つの話は、KLPGA（韓国女子ゴルフツアー）が、初めて実施し

た外国人選手対象のインターナショナルQTで、昨年の日本女子オープンで日本人アマ最高の3位に入賞した永井花奈選手が2位に24打差をつけるぶっちぎりでトップ通過したのだ。

今回のQTで、KLPGA1部ツアーのシード予選会への出場権があったえられ2位の幡野夏生選手もその切符を手にした。また3位に入った新武瑠衣選手も2部、3部のシード予選会への出場権を得た。

KLPGA初の試みは、日本人選手の活躍で盛り上がったわけだ。その2日後に行われた試合（レギュラーツアー）では、招待出場した野村敏京選手（父が日本人、母が韓国人）がプレーオフを制し韓国マスコミもセンセーショナルに取り上げた。

韓国の女子プロ界は、多くの強豪選手を世界に輩出しているが、それぞれが主戦場以外で活躍する様子は、ゴルフが懸け橋となって国を結ぶという効果がある。日本のツアーで韓国のプロが活躍するように、来年は韓国のツアーで日本人プロが活躍する姿を見たいものだ。ゴルフの持つ大きな力とその効用に期待したい。そんな思いで女子ツアーも見守りたいものだ。